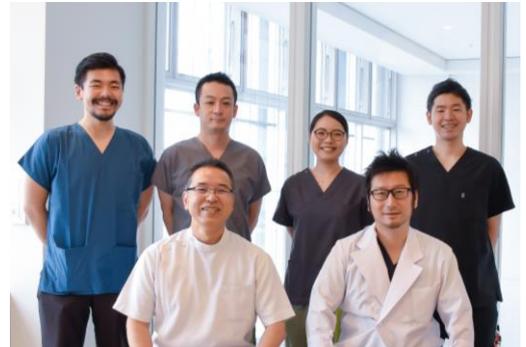


お知らせ

一般外科と小児外科による「ヘルニアセンター」、開設

当院では、成人(15歳以上)の腹壁ヘルニア※治療に対して2016年4月に一般外科「ヘルニア専門外来」を設置し、腹腔鏡手術等専門性を持った治療を行ってきました。また、乳幼児(15歳以下)のヘルニア治療は「小児外科」にて診療を行ってきました。

この度、2021年7月1日に一般外科と小児外科による「ヘルニアセンター」を開設し、乳幼児から成人、高齢者まで、幅広い年齢層の方に対して、安全性はもちろん、低侵襲と早期回復をめざした専門的な治療を積極的に行ってまいります。



センター長 宮木 祐一郎(写真前列左)

副センター長 高橋 俊明(写真前列右)

※ヘルニア・・・正常な位置から体内の構造物が脱出している状態。外科が扱う腹壁ヘルニア(鼠径ヘルニア(脱腸)・腹壁癒痕ヘルニア・臍ヘルニア等)

➤ ヘルニアセンターの特長

■ 症例数

成人は年間250件ほどを行い、ヘルニア外来開設以降の約5年間に1,200件の手術実績を有し、約9割に腹腔鏡手術を行っています。小児では年間200件ほどをすべて腹腔鏡手術で行い、この12年間に2600件の手術実績を持っています。

※(成人のみ)鼠経ヘルニアの治療実績 全国12位／**静岡県1位** * 当院調べ(病院口コミ検索 Caloo より)

■ 切れ目のないシームレスな診療

乳幼児から高齢者まで全ての年齢層に起こりうる外科疾患のため、あらゆる年代に最適な治療を一貫して行っています。また、成人後のフォローアップも容易に行えるため、患者さんにより安心して治療を受けていただけます。

■ 内視鏡技術認定医(ヘルニア)等による専門的な治療

成人・小児ともに腹腔鏡による低侵襲手術を基本とし、成人では3mm~5mm、小児では2mm~3mmの極小さな傷からの手術を提供することで、疼痛軽減はもとより早期の社会復帰を可能としています。

腹腔鏡手術においては、日本内視鏡外科学会による技術認定医制度があります。ヘルニアの領域では、2021年6月時点で全国に122名、静岡県に8名のみであり、当院においても技術認定医が常勤し治療にあたっています。

ぜひ、貴社にてご紹介いただければ幸いです。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 北岡、太田、望月
 浜松市中区住吉 2-12-12 TEL. 053-474-2753 FAX. 053-474-2763